



7-1 学外から電子ジャーナル・データベースを使う リモートアクセスを活用しよう

名古屋大学で契約しているデータベースの中には、学外からでも電子リソース(電子ジャーナル、データベース等)を学内と同じ環境で利用できるものがあります。

- 名古屋大学に現在在籍されている方対象のサービスです。
ご利用には名古屋大学 ID(名大 ID)とパスワードが必要です。名大 ID については
情報連携推進本部 名古屋大学 ID <http://www.icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/nuid/> をご覧ください。
- 提供元との契約条件により、学外から利用できない電子リソースもあります。
- 電子リソースへのアクセスは、専用ページからおこないます。アクセス方法は、以降の手順をご確認ください。

※画像は、PC での表示画面です。タブレット・スマートフォンからアクセスする場合は、一部表示が異なります。

<学外から電子リソース利用(リモートアクセス)を利用する>

クイックリンクは使わないでください。

① 学外からの電子リソース利用

学外から電子リソースを利用するための専用ページを開きます。

- ① 図書館 Web トップページ <https://www.nul.nagoya-u.ac.jp/> で、資料を探す→電子リソース(学内者向け)→[学外からの電子リソース利用]をクリックし、専用ページを開きます。(クイックリンクからアクセスすると利用できませんのでご注意ください。)
- ② [学外からの電子リソース利用・スタートページ]の右側に表示されるリスト[各サービスへのアクセス]から、利用したい電子リソースを選び、クリックします。
- ③ 名古屋大学 ID の認証画面で、上段に名古屋大学 ID を、下段にパスワードを入力して[ログイン]をクリックします。

利用したい電子リソースを選択する。

② 各サービスへのアクセス

まずは利用方法と注意事項を読んでから利用してください。

Central Authentication Service (CAS)

③ 名古屋大学 ID およびパスワードを入力してください

名古屋大学 ID:

パスワード:

他のサイトにログインする前に警告を出す。

ログイン クリア

利用可能な電子リソース例

- ・名古屋大学蔵書検索(OPAC)
- ・電子ジャーナルアクセスサービス
- ・Web of Science
- ・CiNii Research
- ・EBSCOhost ほか

※リストに掲載されていない電子リソースは、提供元との契約により学外からは利用できません。

<学外からの電子リソース利用(リモートアクセス)を終了する>

①利用中の電子リソースページを閉じます。画面上の[ログアウト]、[ログオフ]、[閲覧終了]などをクリックします。

(画面例: Maruzen eBook Library)



同時アクセス制限があるデータベースなどを利用した場合、データベース自体もログアウトする必要があります。

②プロキシサービスからのログアウトを行います。再度、図書館 Web トップページから

[学外からの電子リソース利用]ページの[学外からの電子リソース利用・スタートページ]中の[ログアウト]をクリックします。



電子リソースを利用するにあたっての注意も併せてご確認下さい。
「公正利用の注意」詳細 説明ページ:
https://www.nul.nagoya-u.ac.jp/ej/ej_atten.html
(図書館 Web トップページで、資料を探す→電子リソース(学内者向け)→[電子ジャーナル]→[公正利用の注意]詳細をクリック)

③CAS(Central Authentication Service)からログアウトします。

[学外からの電子リソース利用・ログアウト]中の[CASのログアウト]をクリックします。



セキュリティのため、②プロキシサービスと③CASの両方をログアウトして下さい。



正常に終了すると、この画面が表示されます。